

明治三十三年五月八日遞信省認可

縣報

第拾一號

明治三十三年七月廿四日

和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第五十九號

明治二十二年^四本縣令第三十七號河港提防取締規則第一條中へ左ノ河川港灣及第三條ノ末項へ左ノ一項ヲ追加ス

明治三十三年七月十四日

和歌山縣知事 小倉久

柘榴川 會津川

周參見川

赤本川

小湊

塩津港

有田港 廣島港

印南港

比井港

田邊港

下津港

日置港 文里港

周參見港

大島港

古座港

太地港

字久井港 三輪崎港

新宮港

七 道路兼用ニアラサル提防上車馬ノ通行ヲ爲スコト

○告示

○和歌山縣告示第百五十一號

今同其ノ筋ニ於テ清語通譯必要ノ趣ニ有之就テハ右希望者ハ其ノ學業及勤務ノ履歷書ヲ添附シ本月二十五日迄ニ常廳ニ到着スヘキ様申出ヘシ

明治三十三年七月十日

○和歌山縣告示第百五十二號

和歌山縣知事

小倉

久

神奈川縣橫濱市柳町五番地移民取扱人

高田平兵衛

右ノ者本年五月四日移民取扱人タルヲ許可セラレタル旨所轄縣知事ヨリ通知アリタリ

明治三十三年七月十九日

和歌山縣知事

小倉

久

○和歌山縣告示第百五十三號

本年三月十二日本縣告示第六十三號第一回關西九州府縣聯合水產共進會規則第二條第三區

第五類刻昆布ノ次細工昆布ノ一項ヲ追加ス

和歌山縣知事

小倉

久

○告 諭

○和歌山縣告諭第一號

要塞地帯各區及要塞地帯法第七條第二項ノ區域表示ノ爲ニ設置セル標石、標木、標札等ニ對シ縣下ニ於テ近來數度毀壞其ノ他ノ障害ヲ加フル者アリ是等ハ其ノ惡意ニ出ルモノハ勿論假令過失ニ依ルモ其ノ罪ヲ免ル、コト能ハサルヲ以テ夫々法律ノ規定ニ依リ相當處分セラルヘキハ固ヨリ其ノ所ナリト雖元來右標示ハ國防用防禦營造物ノ秘密ヲ守ルカ爲ニ其ノ地域ヲ表示セルモノニシテ帝國臣民ハ共ニ之ヲ保護スルノ責任ヲ有スルニモ拘ハラヌ右等犯行者ヲ出ス當ニ一再ノミナラサルモノアルハ甚ダ遺憾ニ堪ヘサル次第ニシテ畢竟未タ要

塞地帯法公布ノ精神ヲ知悉セサル者アルニ由ルノ致ス處タルヲ免レヌ右ハ國防上至大ノ關係ヲ有スル儀ニ付各自深ク其ノ趣旨ヲ體シ國防用營造物ノ保全ニ就テハ國民等ノ之ニ任スルノ義務ヲ完フスヘシ

明治三十三年七月十七日

和歌山縣知事

小倉

久

○訓令

○和歌山縣訓令甲第八十五號

郡 警 同 市 町
役 察 分 役 村
所 署 署 所 役 場

明治三十三年六月本縣訓令甲第七十四號海軍召集事務細則申左ノ通改ム

明治三十三年七月廿日

和歌山縣知事

小倉

久

第十一條細則第二十三條ノ名簿ハ附錄第五號ノ調製方法ニ依リ整理スヘシ

(附錄第五號)

名簿調製方法

一名簿ハ海軍豫備役編入下士卒召集名簿ト海軍後備役編入卒召集名簿トノ二冊ニ分ツヘシ

二細則様式第一欄(何)備役編入年月日ニハ豫備役又ハ後備役ニ編入年月日ヲ記入スヘシ

三同第二欄(何)備役満期年月日ハ第一欄ノ服役ヲ終ルヘキ年月日ヲ記入スヘシ

四記事ノ欄ニハ現役ヲ離レタル年月日ヲ朱記スヘシ

五人名ノ順序ハ現役ヲ離レタル年月日ノ前後ニ依リ且豫備役又ハ後備役編入年月日ノ順序ヲ以テス

(注意)現役ヲ離レタル年月日ニ依リテ召集ヲ令セラレハ記事ノ欄ニアル年月日ヲ以テ召集ニ應スヘキ人名ヲ知ルヘシ豫備役又ハ後備役編入ノ年月日ニ依リテ召集ヲ令セラレ

ハ第一欄ヲ見テ被召集員ヲ知り得ヘシ

六兵種ヲ區別スルノ順序ハ左ノ如シ

下士ノ部

兵 曹 信號兵曹 船匠手 軍樂手 機關兵曹 鍛冶手

看護手 筆 記 尉 宰

兵卒ノ部

水 兵 信號兵 木工 軍樂生 機關兵 鍛冶

看 護 主 尉

○和歌山縣訓令甲第八十六號

郡 郡 役 役 所 所

兵事ニ係ル左記ノ事項ハ毎年其ノ都度當廳ニ報告スヘシ但シ爾後取消等ノ異動アルトキ亦同シ

明治三十三年七月二十一日

和歌山縣知事 小倉久

一陸軍召集規則ニ係ル各志願者及一年志願兵志願者合格者採用者ノ住所氏名

二徴兵事務條例施行細則第七様式ノ一及ニニ係ル徴兵表

三徴兵検査ノ結果ニ依リ海軍現役兵トナリタル者ノ住所兵種氏名生年月日入團時日及海兵

圖名

四海軍現役兵中轉居轉籍又ハ氏名ノ異動セシトキハ其ノ時日及要領

明治三十三年七月二十三日印刷(壹頁代價金)
明治三十三年七月二十四日發行(一厘五毛)

和歌山縣

印刷人 和歌山市九番丁九番地 前川初之助

印刷所 和歌山市十二番丁十三番地 和歌山印刷株式會社